

I. 平成22年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成20年11月～平成25年3月(4年5月)

1. 概況

本市中心市街地の活性化は、認定後、新たに5事業を追加し、賑わいの回復に向けた取組みを積極的に進めている。認定基本計画掲載の68事業(再掲を含む)の進捗状況は、事業完了が10事業、実施中が56事業、未着手が2事業となっている。活性化を推進する主な事業である「JR長岡駅大手口駅前広場整備事業」、「長岡市公会堂(仮称)整備事業」、「屋根付き広場等整備事業」を含め、概ね予定通り進捗している状況である。掲載事業以外でも、多様な主体が連携・共同して、まちなかの賑わいづくりをテーマとした「まち市・まち座」を実施したほか、中心市街地活性化協議会による「七夕の集い(まちなかビアガーデン)」、「まちなか散策事業」などの実施により、中心市街地の回遊性の一層の向上を目指している。また、昨年4月に閉店した大和長岡店の空き店舗を地元の大手通商店街振興組合が運営主体となり、合併地域の特産品の販売やNHK・FMラジオの公開生放送など様々なイベントを展開し、来街者の減少を抑える取り組みも行っている。

平成22年10月に実施した、歩行者・自転車通行量(平日)調査では、平成19年度比で、5,779人(7.1%)の増加となっている。平成21年度比では、5,618人(6.9%)増と、着実にまちに来る人の回復傾向に転じている。これは、「JR長岡駅大手口駅前広場整備事業」で整備した東西自由通路の開設に伴う東西のアクセス性や駅の拠点性及びエスカレーターの整備による利便性などが向上したこと、「大手通中央西地区第一種市街地再開発事業」で再整備した、子育て支援施設の増床・絵本館の新設など、機能拡張を図ったことにより利便性が向上したこと、その他、空き店舗・空き事務所に出店・開設する事業者への補助制度の利用者増等によるまちなかの回遊環境の向上などの相乗効果によるものと考えられる。

今後も、長岡駅前の厚生会館の跡地に整備する施設で、アリーナ、屋根付き広場(ナカドマ)、市役所が一体となった複合施設、シティホールプラザ「アオーレ長岡」(平成24年4月以降オープン)や「大手通中央東地区第一種市街地再開発事業」で整備する商業・業務施設、まちなか型市役所、まちなかキャンパス長岡等の整備を行い、中心市街地の賑わいと回遊性の向上により計画に掲げた数値目標の達成を目指すものである。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	今回の見通し	前回の見通し
(1)まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量	80,858人 (H19)	100,000人 (H24)	86,636人 (H22)	①	-
(2)まちに「住む人」を増やす	居住者数	5,521人 (H20)	6,000人 (H25)	平成23年度 フォローアップ		-
(3)まちで「働く人」を増やす	従業者数	15,934人 (H18)	16,600人 (H25)	平成23年度 フォローアップ		-

(4)まちで「活動する人」を増やす	まちなか交流拠点(シティホール)施設利用者数	325,000人 (H18)	780,000人 (H24)	平成24年度 フォローアップ	-
-------------------	------------------------	-------------------	-------------------	-------------------	---

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

シティホールプラザ「アオーレ長岡」の整備など、大型事業の完成により、それらの事業効果が大きく見込まれることから、基本計画の着実な実行により、目標達成は可能であると考えられる。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

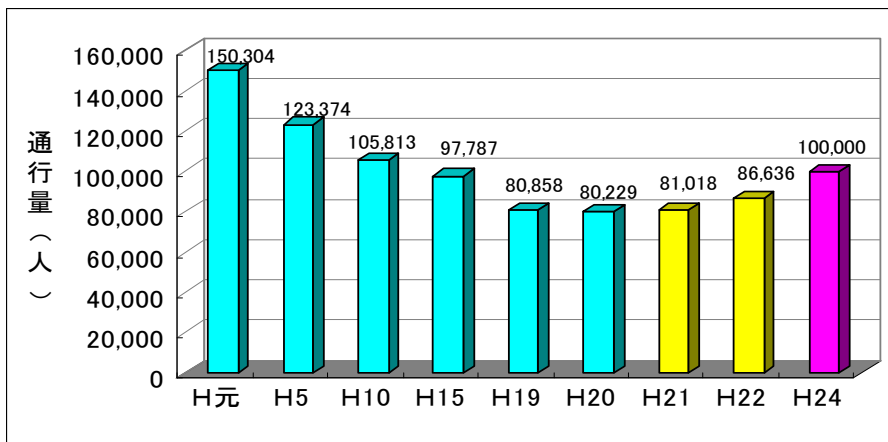
5. 今後の対策

今後とも基本計画掲載事業を確実に一体的に推進するとともに、中心市街地活性化協議会や関係機関等と連携し、基本計画の適正な進行管理を行い、必要に応じ、効果的な事業の追加や見直しを行う。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「まちに来る人を増やす」

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画P58～P64参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H19	80,858 人 (基準年値)
H20	80,229 人
H21	81,018 人
H22	86,636 人
H23	
H24	100,000 人 (目標値)

※調査方法；歩行者・自転車通行量調査（毎年度10月実施）

※調査月；平成22年10月実施、11月取りまとめ

※調査主体；長岡市

※調査対象；歩行者及び自転車通行者、平日14地点

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 長岡市公会堂（仮称）整備事業（長岡市）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	厚生会館地区にシティホールプラザ「アオーレ長岡」のアリーナ等を整備する。
事業効果又は進捗状況	市民の多様な活動の場として、大規模なイベントから日常のサークル活動などに対応できるアリーナ等をシティホールプラザ「アオーレ長岡」に整備し、中心市街地への来街者の増加を目指す。 平成24年4月以降オープン予定 事業進捗率37.5%（事業費ベース、平成23年3月時点）

②. 【追加】屋根付き広場等整備事業（長岡市）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	一年を通じて様々な活動に利用できる屋根付き広場を厚生会館地区に整備する。
事業効果又は進捗状況	シティホールプラザ「アオーレ長岡」の市庁舎やアリーナ、文化ホール等と一体となった屋根付きの開放的な広場を整備し、「ハレ」の場のイベントから日常的な行事まで、様々な活動の展開を図り、中心市街地への来街者の増加を目指す。 平成24年4月以降オープン予定 事業進捗率40.7%（事業費ベース、平成23年3月時点）

③. まちなか賑わい交流センター（仮称）整備事業（長岡市）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	大手通中央東地区第一種市街地再開発事業の再開発ビル内にまちなか賑わい交流センター（仮称）を整備し、中心市街地における新たな「学び」と「交流」の場となる「まちなかキャンパス長岡」を展開する。
事業効果又は進捗状況	まちなかに「市民の学びと交流」をキーワードにした新たな交流拠点施設を整備し、市民の多様化、高度化する学びのニーズに対応するとともに、世代や地域を越えた交流を中心市街地で展開して、来街者の増加を目指す。 平成23年9月オープン予定 事業進捗率70%（工事進捗ベース、平成23年3月時点）

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・歩行者・自転車通行量の増大に大きく期待される事業が、順調に進捗していることから、目標達成は可能であると見込まれる。
- ・掲載事業以外でも、シティホールプラザ「アオーレ長岡」のオープンなどを見込んだ、商業者の空き店舗への新規出店が増えており、来街者の回遊性の向上が期待される。
- ・中心市街地活性化協議会をはじめ、関係機関、団体等との連携をさらに図るとともに、基本計画の掲載事業を着実に推進する。